

岬町橋梁個別施設計画

令和 7 年 7 月改定

岬町都市整備部土木課

目 次

1. はじめに	P. 1
2. 対象施設	P. 1
3. 計画期間	P. 2
4. 対策の優先順位の考え方	P. 2
5. 個別施設の状態等	P. 3
6. 対策内容と実施時期	P. 3
7. 対策費用	P. 4
別表. 施設一覧表	P. 5

1. はじめに

岬町では、平成25年度に岬町が管理する橋梁の内、重要度の高い橋長15m以上の橋梁15橋を対象に長寿命化修繕計画を策定し、事後保全型から予防保全型へ転換を行い、事業を進めてきた。

そのような中、平成26年7月に施行された道路法の改正により、道路管理者は橋長2m以上の橋梁について、5年に1回の頻度で、近接目視により点検を行うことが義務付けられ、平成29年度に岬町が管理する全ての橋梁の点検を行い、令和4年度に2巡目定期点検が完了した。令和4年度定期点検の結果、1橋が判定区分Ⅳ（緊急措置段階）、12橋が判定区分Ⅲ（早期措置段階）と診断された。判定区分Ⅳ（緊急措置段階）は通行止めを行っており、すみやかに修繕を進める計画としている。判定区分Ⅲ（早期措置段階）は次回点検までに修繕を終えることが望ましいとされており、改めて事後保全型から予防保全型への方向転換及び事業費の平準化を図ることが重要である。

そこで、本町は次の観点から計画をとりまとめ、橋梁個別施設計画とする。

表1 健全性の診断結果分類表

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予 防 保 全 段 階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早 期 措 置 段 階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊 急 措 置 段 階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

2. 対象施設

岬町が管理する2m以上の橋梁105橋を対象とする。

今後、道路構造物が急速に老朽化していくことを踏まえ、道路管理者の責任による点検⇒診断⇒措置⇒記録というメンテナンスサイクルを確立するために具体的な点検頻度や方法等が法令で定められ、また「道路の老朽化対策の本格実施に関する提言」（平成26年4月）により、メンテナンスサイクルを持続的に回すよう取組むべきと提言された。

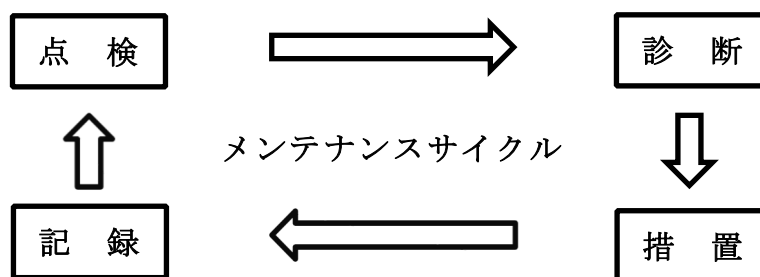


図1 メンテナンスサイクル図

3. 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、令和5年度から次回定期点検年度である令和9年度までの5年間とする。なお、点検結果等を踏まえ、適宜、計画を更新する。

4. 対策の優先順位の考え方

点検結果に基づき、効率的な維持及び修繕が図れるよう必要な措置を講ずる。

また、対策の優先順位については、健全性の他、第3者への影響度や路線の重要度などを総合的に勘案して判断する。

なお、判定区分Ⅰ及びⅡの橋梁については、次回点検まで経過観察とするが、初々橋については、令和3年度に設計が完了しているが、令和6年度以降に工事着手することが施工条件であり、応急補修を実施しており、予算の平準化を鑑み、令和7年度に工事を行う計画とする。判定区分Ⅲ及びⅣの橋梁の内、新浜川1号橋及び朝日川6号橋については、令和5年度当初に橋梁補修設計に着手済みであるため優先順位を上位とする。

表2 優先順位の評価項目等一覧表

評価項目	条件及び評価点		
主要部材の損傷状況	健全度（点検結果評価点） (100 - 健全度) × 10 = 評価点		
路線の重要度	1級 100	2級 50	その他 0
緊急輸送道路の位置付け	国指定 100	府指定 70	町指定 50
国道・主要地方道へのアクセス路線の位置付け	緊急輸送道路 100	国道 70	府道 50
市町間を結ぶ路線の位置付け	有り 100	無し 0	
バス路線の位置付け	有り 100	無し 0	
近隣の施設状況（避難所や公共施設等の有無）	避難所 100	公共施設等 50	
道路示方書の適用時期	1980年以前 100	1980~1996年 50	1996年以降 30
橋長	15m以上 100	5~15m 50	5m未満 0

5. 個別施設の状態等

岬町が管理する橋梁の健全度は下表のとおりである。

表3 健全度一覧表

単位(橋)

	判定区分Ⅰ	判定区分Ⅱ	判定区分Ⅲ	判定区分Ⅳ	計
橋長15m未満	61	13	12	1	87
橋長15m以上	16	2	0	0	18
計	77	15	12	1	105

6. 対策内容と実施時期

令和4年度の点検結果及び優先順位の評価を踏まえ、下記橋梁の措置を講ずる。

なお、対策内容及び実施時期に記載のない橋梁については、詳細が決まり次第、随時、計画を見直すものとする。

表4 対策内容及び実施時期一覧表

単位(千円)

橋梁名	路線名	点検結果	措置内容	R5	R6	R7	R8	R9	評価点	優先順位	対策費用
背合橋	畑線	Ⅲ	断面修復		設計	補修			1350.0	4	2,722 14,200
初ヶ橋	西畑線	Ⅲ	架替			補修			838.2	3	— 26,000
臨港1号橋	小田平北線	Ⅲ	塗替				設計	補修	990.5	9	6,500 4,620
新浜川1号橋	新浜1号線	Ⅳ	架替	設計	補修				1058.0	1	4,369 13,300
池谷1号橋	西畑線	Ⅲ	断面修復				設計	補修	1025.7	8	5,500 3,300
朝日川6号橋	緑四4号線	Ⅲ	塗替 当て板	設計	補修				820.2	2	2,152 3,575
弥勒川2号橋	緑四6号線	Ⅲ	塗替 当て板					設計	869.1	10	5,000 —
北出橋	深日漁港線	Ⅲ	塗替						612.5	13	— —
九艘川4号橋	淡輪二区3号線	Ⅲ	断面修復						700.0	12	— —
中出橋	上孝子西1号線	Ⅲ	塗替 当て板		設計	補修			1200.0	5	2,723 15,199
淡輪水道橋	別所線	Ⅲ	塗替 当て板			設計	補修		1053.9	7	4,047 17,800
中孝子3号橋	中孝子中央線	Ⅲ	塗替 当て板	設計					860.0	11	5,000 —
下出橋	上孝子西1号線	Ⅲ	塗替 当て板			設計	補修		1164.0	6	4,413 10,800
対策費用 計				11,521	22,320	63,859	40,600	12,920			

7. 対策費用

他工事のとの調整を図りつつ、「6. 対策内容と実施時期」の内容を基に費用の平準化を図るとともに、令和5年度から令和9年度までの5年間に実施する管理橋梁の修繕工事において新技術・新工法の活用を重点的に検討し、新技術採用工種の費用を1割程度、縮減することを目標とします。また、5年に1回の定期点検に併せて橋梁の適正な配置についての調査を行い、今後の周辺状況や利用調査を基に、令和15年度までに1橋程度の集約化・撤去を検討することで、更新時期を迎えるまでに必要となる約400万円の費用の縮減を目指します。なお、橋梁によっては予防保全との費用対効果、安全性、技術の伝承の観点等から総合的に判断し、有利な場合は橋梁の更新も検討します。

表5 年度別対策費用一覧表

単位(千円)

計画期間	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
概算費用	11,521	22,320	63,859	40,600	12,920

施設一覧表

No	橋梁名	路線名称	所在地	橋梁の種類	架設年次	橋長 (m)	幅員 (m)	判定区分
1	城ヶ谷橋	西畑線	岬町多奈川	3径間連続PCプレテン床版橋	昭和54年	34.4	4.4	I
2	落合橋	谷川港西2号線	岬町多奈川	4径間連続PCプレテン床版橋	平成13年	32.8	4.1	I
3	池谷新橋	西畑線	岬町多奈川	1径間単純PCプレテン床版橋	平成16年	21.6	8.4	I
4	紫草川橋	紫草川線	岬町淡輪	1径間単純H型鋼桁橋	昭和40年	21.2	2.1	II
5	はさまだ橋	西畑線	岬町多奈川	1径間単純PCプレテン中空床版橋	平成16年	20.4	6.4	I
6	楠木橋	西畑線	岬町多奈川	1径間単純PCプレテンT桁橋	昭和63年	20.2	8.0	I
7	宮下橋	国玉線	岬町深日	1径間単純H型鋼桁橋	昭和30年	19.7	2.0	II
8	祇園橋	畑山線	岬町淡輪	1径間単純PCプレテンT桁橋	平成10年	19.2	10.5	I
9	古田橋	古田橋線	岬町淡輪	1径間単純H型鋼桁橋	昭和28年	18.9	2.6	I
10	見出川橋	淡輪西2号線	岬町淡輪	2径間単純RCT桁橋	昭和28年	18.1	2.5	I
11	尾和橋	南出4号線	岬町深日	2径間連続PCプレテン中空床版橋	昭和29年	18.1	3.2	I
12	千歳橋	千歳線	岬町深日	2径間連続H型鋼桁橋	昭和28年	17.9	4.5	I
13	五本松橋	西畑線	岬町多奈川	1径間単純PCプレテン床版橋	平成11年	17.0	6.6	I
14	極楽橋	産土線	岬町多奈川	1径間単純RC桁橋	昭和27年	17.0	4.4	I
15	湯川橋	赤江線	岬町淡輪	2径間単純H型鋼桁橋	昭和30年	15.3	2.8	I
16	淡輪水道橋	別所線	岬町淡輪	1径間鋼ポニートラス橋	—	14.9	1.8	III
17	一本松橋	西畑線	岬町多奈川	1径間単純PCプレテン床版橋	平成11年	14.0	8.0	I
18	平野橋	平野線	岬町多奈川	1径間単純PCプレテン床版橋	—	13.1	8.0	I
19	大渡橋	畑線	岬町淡輪	1径間単純RC桁橋	昭和7年	12.1	4.0	I
20	背合橋	畑線	岬町淡輪	1径間単純RC桁橋	昭和7年	11.4	4.0	III
21	畑2号橋	畑2号線	岬町淡輪	1径間単純H型鋼桁橋	—	10.7	2.5	II
22	孝子橋	孝子駅前線	岬町孝子	1径間RCアーチ橋	昭和4年	8.5	2.5	I
23	向井橋	中孝子3号線	岬町孝子	1径間RCアーチ橋	昭和4年	8.0	2.5	I
24	初ヶ橋	西畑線	岬町多奈川	1径間単純H型鋼桁橋	昭和30年	7.5	3.6	III
25	石橋2号橋	石橋中央線	岬町多奈川	1径間単純H型鋼桁橋	—	7.2	3.0	II
26	門前上橋	長尾筋線	岬町深日	1径間単純プレキャストRC床版橋	—	6.7	2.0	I
27	九艘川7号橋	東御陵漁港線	岬町淡輪	1径間単純H型鋼桁橋	—	6.5	2.6	II
28	佐瀬川3号橋	西畑線	岬町多奈川	1径間RCボックスカルバート橋	平成8年	6.1	7.7	I
29	佐瀬川5号橋	西畑線	岬町多奈川	1径間RCボックスカルバート橋	平成7年	6.1	10.6	I
30	公園橋	岬海岸番川線	岬町淡輪	2径間連続RC床版橋	—	5.4	4.7	I
31	石橋1号橋	石橋中央線	岬町多奈川	1径間単純H型鋼桁橋	—	5.0	2.5	II
32	中孝子3号橋	中孝子中央線	岬町孝子	1径間RCアーチ橋	—	5.0	4.2	III
33	池谷川4号橋	池谷1号線	岬町深日	1径間単純H型鋼桁橋	—	4.8	5.8	II
34	中孝子6号橋	中孝子3号線	岬町孝子	1径間単純H型鋼桁橋	—	4.8	3.6	II
35	池谷川3号橋	緑通学線	岬町深日	1径間RCアーチ橋	—	4.6	6.0	I
36	池谷川2号橋	池谷4号線	岬町深日	1径間RCアーチ橋	—	4.6	2.1	I
37	臨港1号橋	小田平北線	岬町多奈川	1径間単純H型鋼桁橋	—	4.6	3.7	III
38	門前橋	向出門前線	岬町深日	1径間単純プレキャストPC床版橋	—	4.5	3.7	I
39	新浜川1号橋	新浜1号線	岬町多奈川	1径間単純H型鋼桁橋	—	4.5	1.8	IV
40	新浜川2号橋	新浜線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	平成4年	4.1	4.1	I
41	弥勒川下橋	深日港2号線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	4.0	5.3	I
42	中孝子4号橋	中孝子2号線	岬町孝子	1径間単純RC床版橋	—	4.0	2.3	I
43	池谷1号橋	西畑線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	3.9	3.5	III
44	弥勒川橋	向出門前線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	3.9	5.2	I
45	中孝子5号橋	中孝子2号線	岬町孝子	1径間単純RC床版橋	—	3.9	3.8	I
46	朝日川5号橋	日東団地4号線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	3.7	6.2	I
47	池谷4号橋	池谷1号線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	3.7	2.4	I
48	弥勒川1号橋	緑東西線	岬町深日	1径間単純床版橋	—	3.5	3.7	I
49	池谷2号橋	池谷中央線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	3.5	1.9	I
50	中孝子1号橋	孝子駅前線	岬町孝子	1径間単純RC床版橋	—	3.5	7.7	I
51	朝日川4号橋	日東団地3号線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	3.4	6.2	I
52	弥勒川3号橋	緑通学線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	3.3	4.6	I
53	畑1号橋	畑線	岬町淡輪	1径間単純RC床版橋	—	3.2	4.0	I

No	橋梁名	路線名称	所在地	橋梁の種類	架設年次	橋長 (m)	幅員 (m)	判定区分
54	黒崎水路1号橋	黒崎線	岬町淡輪	1径間単純RC床版橋	—	3.2	4.2	I
55	城ヶ谷上橋	西畑線	岬町多奈川	1径間RCボックスカルバート橋	—	3.2	7.5	I
56	佐瀬川2号橋	西畑線	岬町多奈川	1径間RCボックスカルバート橋	—	3.2	3.3	I
57	朝日川6号橋	緑西4号線	岬町深日	1径間単純H型鋼桁橋	—	3.1	5.3	Ⅲ
58	中孝子2号橋	中孝子中央線	岬町孝子	1径間単純RC床版橋	—	3.1	3.8	I
59	池谷3号橋	西畑線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	2.9	3.0	Ⅱ
60	大溝水路2号橋	美崎苑中央線	岬町淡輪	1径間単純RC床版橋	—	2.9	6.7	I
61	弥勒川6号橋	緑二中央線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	2.9	6.6	I
62	南村水路2号橋	緑一8号線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	2.8	5.4	I
63	弥勒川2号橋	緑四6号線	岬町深日	1径間単純H型鋼桁橋	—	2.8	3.9	Ⅲ
64	佐瀬川4号橋	西畑線	岬町多奈川	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.7	14.2	I
65	九艘川6号橋	駅前西線	岬町淡輪	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.7	4.6	I
66	弥勒川4号橋	緑三1号線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	2.7	2.9	Ⅱ
67	朝日川7号橋	緑西線	岬町深日	1径間単純RC床版橋+鋼桁	—	2.7	3.9	I
68	九艘川1号橋	黒崎線	岬町淡輪	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.6	5.6	Ⅱ
69	九艘川3号橋	畑山線	岬町淡輪	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.6	7.2	I
70	平野水路3号橋	宮下連絡線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	2.6	4.1	I
71	長崎鼻橋	岬海岸番川線	岬町淡輪	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.5	4.0	I
72	九艘川2号橋	淡輪八区1号線	岬町淡輪	1径間単純RC床版橋	—	2.5	5.7	I
73	小島3号橋	小島南6号線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	2.5	2.0	Ⅱ
74	小島2号橋	小島南9号線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	2.5	1.1	I
75	出合橋	下孝子線	岬町孝子	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.5	3.7	I
76	池谷5号橋	西畑線	岬町多奈川	1径間石橋	—	2.4	3.3	I
77	九艘川5号橋	淡輪中央線	岬町淡輪	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.4	6.0	I
78	弥勒川5号橋	緑三4号線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	2.4	4.6	I
79	平野水路2号橋	平野8号線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	2.4	2.0	I
80	北出橋	深日漁港線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	2.3	2.3	Ⅲ
81	南村水路3号橋	緑一中央線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	2.3	3.9	I
82	南村水路1号橋	緑一中央線	岬町深日	1径間単純RC床版橋	—	2.3	7.9	I
83	平野水路1号橋	平野8号線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	2.3	3.7	I
84	小島1号橋	小島南8号線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	2.3	1.4	I
85	九艘川4号橋	淡輪二区3号線	岬町淡輪	1径間単純RC床版橋	—	2.2	1.0	Ⅲ
86	大溝水路1号橋	古田橋線	岬町淡輪	1径間単純RC床版橋	—	2.2	3.3	I
87	下孝子2号橋	下孝子4号線	岬町孝子	1径間単純RC床版橋	—	2.2	1.8	I
88	中橋	中橋線	岬町深日	2径間連続RCT桁橋	昭和29年	17.8	2.0	I
89	南海橋	南海橋線	岬町深日	1径間単純H型鋼桁橋	—	13.1	3.0	Ⅱ
90	鳥花橋	逢帰線	岬町孝子	1径間RCボックスカルバート橋	昭和40年	10.5	5.0	I
91	其宮橋	逢帰線	岬町孝子	1径間単純PCプレテンI桁橋	昭和40年	10.4	5.1	I
92	下河原橋	下河原線	岬町孝子	1径間単純H型鋼桁橋	昭和53年	9.5	4.0	I
93	上出橋	上孝子中央線	岬町孝子	1径間単純H型鋼桁橋	—	8.3	3.4	I
94	並木橋	上孝子東1号線	岬町孝子	1径間単純PCプレテンI桁橋	昭和40年	7.9	4.7	I
95	中出橋	上孝子西1号線	岬町孝子	1径間単純H型鋼桁橋	—	7.0	2.2	Ⅲ
96	下出橋	上孝子西1号線	岬町孝子	1径間単純H型鋼桁橋	昭和12年	6.9	3.3	Ⅲ
97	上垣外橋	上孝子西2号線	岬町孝子	1径間単純RC床版橋	—	6.4	1.8	I
98	下孝子3号橋	下河原線	岬町孝子	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.4	4.2	I
99	逢帰1号橋	逢帰線	岬町孝子	1径間石橋	—	2.3	4.2	I
100	平野水路4号橋	平野7号線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋・石橋	—	2.1	3.6	Ⅱ
101	下孝子1号橋	下孝子線	岬町孝子	1径間単純RC床版橋・1径間RCボックスカルバート橋	—	2.0	4.0	I
102	山田1号橋	山田線	岬町淡輪	1径間RCボックスカルバート橋	—	2.0	4.3	I
103	新浜川3号橋	谷川港西側線	岬町多奈川	1径間単純RC床版橋	—	2.0	10.5	Ⅱ
104	番川橋	別所只山線	岬町淡輪	1径間単純鋼I桁橋	平成25年	22.5	7.2	I
105	海岸連絡橋	海岸連絡線	岬町淡輪	1径間単純PCプレテンI桁橋	令和2年	24.5	10.3	I